

令和2年度学校自己評価システムシート (県立新座高等学校)

目指す学校像	みんなの心が共に響きあう学校
--------	----------------

重点目標	人として信頼され、志を持った生徒を育成する 1 確かな学力を身につける学習システムの下、すべての生徒が学ぶ喜びを実感する 《学力の向上》 2 一人一人の生徒に徹底的に寄り添い指導し、多様な生徒の進路希望を実現する 《自己実現の醸成》 3 地域社会と連携し、チームとしての学校力の向上を果たす 《開かれた学校づくり》
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標			年度評価(1月8日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	<p>(現状) グループ学習を中心に、アクティブラーニング(AL)が定着している。また、個々に応じた丁寧な指導を実践している。</p> <p>(課題) 生徒の基礎学力の定着と学校への帰属意識を高めることに課題がある。学習指導と生徒指導を一体とした取組みが必要である。</p>	<p>○欠点保有者を減少させるために、基礎学力を定着させる指導を強化する。</p> <p>○転退学者を減少させるために、積極的な生徒指導の取組みを重視する。</p>	<p>①既存の指導を丁寧に継続するとともに、教務部や教育課程委員会を中心に、基礎学力の定着を図る新たな方策を多方面で検討する。 ②授業研究プロジェクト委員会を中心に、主体的で対話的な深い学びの実現を目指した研修会や公開授業を定期的実施する。</p> <p>①生徒との深い信頼関係を築くことを重視して、定期的に生徒指導研修会を実施する。 ②高校生自立支援事業を継続し、実績を生かしつつ、新たな支援方法を検討する。 ③外部教育資源を活用した授業や取組みを積極的に実施し、生徒の学習意欲を喚起する。</p>	<p>①年度末欠点保有状況と委員会等の検討状況 ②授業研修会の実施状況と公開授業の実践状況</p> <p>①年度末転退学者状況と生徒指導研修会実施状況 ②事業実施状況と学校生活満足度の推移 ③外部講師や地域との連携を図る取組の実施状況</p>	<p>◎教育活動を工夫・改善し、学習指導を丁寧にを行った結果、欠点保有者を大幅に減少できた。【ほぼ達成】</p> <p>○教科担当による補習、課題、中テスト等の指導により欠点保有者が大幅に減少している。(2学期末昨年比25名減) ○授業研究会を2回、特別支援教育等研修会を2回実施して、学習指導力及び生徒理解力の向上に努めている。 ○生徒の進路変更数(退学者6名、転学者10名)に大きな変化は見られないが、全教職員が生徒指導研修会を定期的に開催し、「積極的な生徒指導」の実践に努めている。 ○外部専門員と効果的な連携を継続しており、生徒の学校生活を丁寧に支援している。</p>	<p>A</p> <p>○教科担当や担任の工夫・改善により、欠点保有状況は大幅に改善された。今後は、基礎学力を高める方策を更に推進していく。 ○大きく制限されたグループ学習の代替として、ICTを活用する学びが新たな可能性を広げている。 ○「積極的な生徒指導」の姿勢を重視し、学習指導と生徒指導を一体とした取組みを強化していく。</p>
2	<p>(現状) 教師と生徒の良好な関係が大きな特徴であり、学校行事を中心に明るく活気ある雰囲気である。県教委指定事業にも積極的に取組み、生徒の確実な成長につなげている。</p> <p>(課題) 生徒の自己肯定感を高めるために体験的な活動の機会を重視する。また、多様な生徒の進路実現に向けた系統的な進路指導の強化が必要である。</p>	<p>○生徒の自己肯定感を高めるために、体験的な活動の機会を積極的に提供する。</p> <p>○多様な生徒の進路実現のために、自立に向けた丁寧な支援を継続する。</p>	<p>①部活動・生徒会活動・学校行事を通して、生徒の体験的な活動を重視する。 ②特別支援教育推進委員会を中心に、外部支援員と連携して、効果的な指導を実践する。 ③学校全体を通して、生徒の生活面での指導を丁寧に実践する。</p> <p>①企業及び上級学校訪問、進路講演会等を通して、生徒の希望進路の実現を支援する。 ②新教育課程の導入に向けた準備を継続して、総合的な探究時間を系統的に実践する。</p>	<p>①部活動や生徒会活動の実施状況や特色ある学校行事の取組状況 ②外部支援員の活用状況と対象生徒の活動状況 ③日常の指導状況及び生徒指導件数の推移</p> <p>①生徒の進路実現状況と進路指導の実践状況 ②新教育課程の準備状況と総合的探究時間の進捗状況</p>	<p>◎生徒の主体的な活動の育成を目指し、教職員が一体となり、効果的な指導と支援が実践できた。【ほぼ達成】</p> <p>○活動制限がある状況において、生徒の主体的な活動を引き出す学校行事(文化祭、体育祭)が実施できた。 ○通級支援員と連携しながら、キャリアポートを定期的に実施し、生徒の資質向上に貢献できた。 ○全教職員が生徒と対話を重視する指導を実践している。生徒指導件数は33件(昨年24件)であり、コロナ禍もあり増えているが、内容は軽微なものである。 ○進路指導部、担任等による細やかな指導の成果があり、進路決定状況87%(12月末現在)となっている。 ○新教育課程委員会の尽力により、新教育課程がほぼ完成しており、令和4年度に向けた準備が進行している。</p>	<p>A</p> <p>○体験的活動を継続し、生徒の自己肯定感を高める支援を行う。 ○将来社会を支える側に立てる人材の育成を視野に、低学年からの進路指導を展開し、多様な生徒の進路実現を支援していく。 ○総合的な探究時間の系統的な指導を目指し、様々な活動を通して、社会に通用する力をつけ、豊かな人間性の育成していく。</p>
3	<p>(現状) 目指す学校像の実現に向けた指導を大切にしており、地域に根差した学校づくりの視点を重視している。また、HPやメールを活用して、効果的な情報発信を実践している。</p> <p>(課題) 地元小中学校との連携を大切に、本校の良さを丁寧にPRしていく。また、見識ある生徒を育成する視点での、PTAと連携した講演会の継続実施を課題としている。</p>	<p>○地域とともに発展するために、外部機関等と連携した学校づくりを推進する。</p> <p>○開かれた学校づくりを拡充するために、丁寧な広報活動を継続する。</p>	<p>①目指す学校像の実現に向けて、生徒・保護者・教師の良好な関係を継続・発展する。 ②社会貢献の視点を重視した取組みを継続し、地域との信頼を深めるために尽力する。</p> <p>①HP等の有効な活用方法の検討を継続し、小中学校に対して効果的な情報を発信する。 ②新入生準備委員会を中心に、学校説明会等の方法を継続して検討する。 ③生徒を支援するPTAの取組を継続し、性教育やLGBTQ等の講演会を企画する。</p>	<p>①学校生活満足度の推移と保護者の学校行事参加状況 ②地域の関係機関と連携した社会貢献活動の実施状況</p> <p>①HPやメールを活用した情報発信状況や発信回数 ②生徒募集に関する取組状況と入試における志願状況 ③講演会等の実施状況</p>	<p>◎保護者や地域と連携した行事は自粛となったが、本校のよさを積極的にPRできた。【概ね達成】</p> <p>○生徒による学校生活満足度は、80%程度となっている。 ○コロナ禍に関わらず、愛校心を持つ生徒が多数存在している。 ○「よりよい新座高校」をPRするために、HPの見直しを図るとともに、全校一斉メールの発信回数(46回)を増やし、「本校のよさ」を積極的に広報した。 ○学校説明会を5回実施し、効果的にリモートを活用するとともに、個別相談には丁寧に対応できた。 ○地域との連携した取組やPTA主催講演会は自粛したが、次年度に向けた検討を始めている。</p>	<p>B</p> <p>○近隣中学や高校の授業見学会を設定し、学習指導や生徒指導の視野を広げる機会とする。 ○地域に根差した普通科高校の特色を生かし、地域との連携を強化していく。 ○HPや全校一斉メールを今後も効果的に活用する。 ○PTAや後援会と連携して、生徒の見識を高める取組みを企画、検討していく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和3年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>○学力の向上に向けた様々な施策を今後も継続してもらいたい。 ○コロナ禍における学習指導や支援を強く理解できた。 ○生徒への丁寧な指導の半面で、先生方の労働時間やストレスを心配している。ぜひとも先生方の働く満足度を高めてほしい。</p> <p>○生徒会の生徒が、意欲的に活動しているので、引き続き努力を継続してほしい。 ○就職や進学について、生徒が自ら主体的に行動できるようになってもらいたい。 ○生徒の主体性を伸ばす様々な方策を継続的に実践してほしい。</p> <p>○よりよい学校づくりのために、生徒主体で様々なことに取り組んでほしい。 ○挨拶を自ら行う体験が大切であるので、率先し、実践してほしい。 ○学校生活における満足度が、生徒(83%)より保護者(93%)が高い理由は、丁寧な日々の指導が信頼を得ていると思われる。</p>